

# 令和元年度 第1回

## 川合市長と語り合うタウンミーティング

～川越市保健推進員協議会～



日時：令和元年10月8日（火）

午後1時30分～3時00分

場所：川越市総合保健センター3階研修室

## 参加者

川越市保健推進員協議会 20名

## 出席者

市長、栗原副市長、総合政策部長、市民部長、保健医療部長、都市計画部長、建設部長、学校教育部長、福祉部参事（福祉部長代理）

## 意見数

分類	件数	内容	頁
福祉・保健・医療	7	・保健推進員活動	2
		・特定健診受診率の向上	2
		・ラジオ体操の推進	3
		・埼玉県コバトン健康マイレージの参加者を増やすために	5
		・公共施設での健康チェックグッズの常設について	7
		・働き盛りの30代から50代の健康づくり	11
		・保健推進員協議会の広報紙	16
教育・文化・スポーツ	2	・小学校の空き教室の活用	6
		・複数ある委員会の一本化・簡略化	13
都市基盤・生活基盤	5	・日常生活における交通手段の確保	8
		・ウォーキング等の支障になっている新河岸川土手の雑草	12
		・デマンド型交通に関する周知	14
		・公共交通の利用促進	15
		・公園の整備について	16
計	14		

## 意見交換（要約）

### 《保健推進員活動の広報》

**意見** 第3支会です。保健推進員では、いろいろな健康情報を学び、口コミによる情報発信をメインにやっております。自分たちで地域活動の発信の場を探して活動している状態ですが、現在のところ思うようには進んでおりません。この推進員の推薦も、自治会、支会から推薦されて推進員になっているということがあるんですが、地域によっても温度差がありまして、うまく地域の連携された活動が行われていないのが現状です。

ですので、ぜひ推進員の存在をアピールしていただいて、活用していただける場をもっと広く設けていただけたらなと考えております。

**市長** いつも保健推進員の皆様方には、いろんな活動を通じて、市民の健康増進、あるいは病気の予防等、ご尽力をいただいております、ありがとうございます。

保健推進員がまだまだ知られていないというか、存在をもっと広報してもらいたいというご意見をいただきました。いろんなイベントのときに、皆様方にご協力をいただいているということもありますから、イベントのときにも、保健推進員の皆さんのおかげであることがわかるような広報をするとともに、ほかの広報紙に保健推進員さんの仕事等も紹介するとか、いろんな企画をしながら広報をやっていきたいと思います。

### 《特定健診受診率の向上》

**意見** 南古谷支会です。特定健診を受けるために、自治会や地域ごとに一緒に受診できるよう、ぜひ市で送迎バスを用意していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。近所の方や友達同士で誘い合いながら行こうと思う人も増えるのではないかと思いますので、ぜひご検討をお願いいたします。

また、南古谷地区は大きな病院が1つしかなく、クリニックが幾つかありますが、南古谷駅前に集中していて、受診できる病院が身近にない方もたくさんいらっしゃいます。公共施設等で健診を受けられる日を設ければ受診する人も増えると思いますが、いかがでしょうか。

また、特定健診の受診率を向上させるため、去年のデータより改善したら商品券

等のご褒美をあげることで、毎年受診し、継続性につながるとは思いますが、いかがでしょうか。

**市長** 特定健診の受診率向上のためにいろいろご提案をいただきまして、ありがとうございます。

地域の人のために市が送迎バスで運ぶというのは、確かにそうすれば大勢の人が受診してくれるのは間違いないとは思いますが、人手とか費用とかそういうものを考えると、ハードルが高いのかなという気もしますけれども、検討の対象にさせていただきたいと思っております。

それから、公共施設で健診ができれば、それは一番地域の人にとってはいいんでしょうけれども、それも難しい面がありそうな気はします。これからの検討課題とさせていただきます。

受診率を上げるためにインセンティブを与えるということについては、斬新なアイデアだとは思いますが、正直言ってなかなかハードルは高いと思います。

**保健医療部長** 市長が申し上げましたとおりに難しいとは思いますが、国民健康保険では、あくまで抽選なんですけれどもクオカードをプレゼントするといったこともやっておりますので、ぜひそちらのほうでやっていただけるならありがたいなど。もう一つのほうは、検討させていただきたいと思っております。

**意見** 特定健診につきまして、我々も地域の皆様になるべく進んで参加いただけるようにチラシ等を配らせていただいて頑張るつもりでございます。

### 《ラジオ体操の推進》

**意見** ラジオ体操の推進について述べさせていただきます。私どもの総会に市長さんがいらしていただいたときに、もう数年前になりますが、手軽にできる体操ですので皆さんがやったらいいのではないのでしょうかというご挨拶の中で、「ラジオ体操をしましょう」とのお言葉を頂戴しました。それを機に、私たち保健推進員は、各地の川越市内のラジオ体操の会場を訪問したり、保健師さんと一緒に取材をさせていただいたりして、ラジオ体操マップというものをつくらせていただいております。保健センター玄関の入り口すぐ右手のところに三十何カ所の表記をさせていただいております。我々も講習会等に参加しまして、ラジオ体操を地域に推進しております。

でも、やはり我々だけでは、ちょっと手が足りない。行く場所も、活動の場も狭まっておりますので、スポーツ推進委員さんとか体育協力員さんにも受講していただいて、一緒に広めていけたら一番いいのではないかなと考えております。

夏休み等、子供たちがラジオ体操に参加していただきますが、まだ体操を本当に覚えきっていないのではないかなという傾向が見られるんです。我々は、小学生のころから朝の朝会などで、いや応もなくラジオ体操を覚えたものでした。それが今につながっていて、音楽が聞こえれば体操ができるような状態にまでなってきたような気がするんです。

それで、いかがでしょうか。子供たちにももっと覚えてもらう機会があれば、もっともっと川越市のラジオ体操人口も増えていくのではないかと思います。私、市長さんに名細のタウンミーティングのときに、ご無理を言いまして、ラジオ体操会場に来て下さいとお願いをしましたら、市長さん、お忙しいのに全部の会場を回っていただきました。本当に皆さん、市長さんがお見えになると喜ばれるんです。我先に話しをしたがったり、握手を求めたりとか、とてもいい時間を過ごさせていただきまして、市長さん、本当にありがとうございます。あと2カ所残っております。そちらのほうも、申しわけありません、お願いいたします。

そんなわけで、子供から大人まで全市挙げてのラジオ体操教室みたいなものができたら、もっともっと体操になじんでもらえるかと思っております。

**市長** ラジオ体操につきましては、本当に会長さんを初め、保健推進員の皆さんにはご協力をいただいて、大分広まってきたと思っております。ありがとうございます。

学校でのラジオ体操の状況については、後ほど学校教育部長のほうからコメントをもらいたいと思うんですが、最近はずっと教えていると思っております。

それと、残りの2カ所については、今年度中にまいりましょう。次年度になったら、またもう一回りしようかなと思っておりますので、よろしく申し上げます。

**学校教育部長** 小中学校でのラジオ体操の実施状況ですが、平成29年度末の調査というのが全校の調査としては最新になります。この調査によりますと、実施の回数ですとか頻度に若干の違いはありますが、中学校22校、小学校32校、全ての学校でラジオ体操を実施しています。

中学校だけで申し上げますと、体育の授業で実施している学校が14校。体育的

活動、例えば授業前の朝の時間帯や放課後に行っている学校は2校。体育的行事として運動会とか持久走大会等で行っている学校は11校。林間学校の際に行っている学校は6校。部活動で行っている学校は5校という状況で、学校によってその取組はさまざまですが、全校で実施しています。

小学校につきましても同じように全校で実施しています。小学校では、若い先生でラジオ体操の経験が少ない教員もおります。そこで、小学校体育連盟主催でラジオ体操講習会を、全校を対象として体育主任を中心に集めまして、昨年度、一昨年度と実施しました。まずは、各学校の模範となる、ラジオ体操がうまくできる教員をつくるということを目的とした講習会を実施し、それをもとに、各学校の行事等で実施しております。徐々にではあるかもしれませんが、ラジオ体操を広めているという状況です。

**意見** もっともっと子供に覚えてもらって、将来の健康づくりに役立ててほしいなと考えております。

#### 《埼玉県コバトン健康マイレージの参加者を増やすために》

**意見** 南古谷支会です。埼玉県コバトン健康マイレージは、申し込みをしてから発送まで時間がかかるために、忘れたところに届いていると思います。申し込み当日に歩数計がもらえるようにならないでしょうか。それと、タブレット端末の設置場所をスーパーなどの身近な場所に増ふやしてほしいと思います。あと、マイレージ参加者を集めるため、ウォーキングイベントをやったらどうでしょうか。同じ事業に参加している人が集まることで一体感が生まれ、やる気にもつながるのではないかと思います。

**市長** コバトン健康マイレージのタブレット端末が設置してある施設は、川越市内にそれほど多くないと思うんですが、埼玉県と協働してやっている事業である関係で、川越市の一存で自由に変えるというのができにくい部分ではあります。しかし、いろんな面で改善していかなきゃならない、今おっしゃられたような点はあるかと思いますが、埼玉県と協力しつつ、ご要望に応えられるように努力していきたいと思っております。

**保健医療部長** タブレット端末が置いてある場所につきましては、市内に15カ所設置をしております。設置場所については、市内の百貨店やスーパーマーケットの

ようなところもありますし、今後、またいろんな企業にも協力をしていただいて、置けるように検討していきたいと考えております。

歩数計の郵送につきましては、申し込み後、健康マイレージの事務局で確認作業や、登録事務のための時間が必要となっております。ご不便をかけますけれども、ご理解を賜りたいと思います。なお、スマートフォンのアプリをご利用いただく場合には、登録直後からご利用が可能です。

マイレージ参加者を集めたウォーキングイベントにつきましては、参加者向けに効果的なウォーキング方法の実技でありますとか、食生活についての講話をテーマにして、ウォーキング講習会を年2回実施しております。今後につきましても、参加者向けの事業を実施いたしまして、楽しく継続していけるように努めてまいりたいと考えているところでございます。

**意見** 15カ所がもっと増えると行きやすいと感じます。我々保健推進員も、地域の方々に用紙を配りまして、参加をしてくださいと呼びかけても、どこで端末をとられたときに説明するのが大変なので、ぜひ増えればいいなと思っております。

#### 《小学校の空き教室の活用》

**意見** 第10支会です。第10支会は、毎年6月に3世代グラウンドゴルフを行っております。毎回楽しく参加していただいているんですが、もう少し子供とお年寄りの交流の場があればいいなと思っております。ただ、子供たちはお稽古事などで土日とかも忙しくて、なかなか時間がないんですね。お年寄りの方もデイケアとかになかなか行きたがらない、まだ自分は行かなくていいという方がいらっしやって、行きたがらないところがあります。そうであれば、小学校の空き教室とかで、お年寄りが子供に何かを教えるとか、そういう交流の場があればお年寄りの行き場としてもいいと思います。また、夕方1人で歩いている子供とか、夕方1人で歩いているお年寄りの方がお互い声をかけ合う地域になるような交流の場があればいいと思います。ぜひ学校にある空き教室を使って、お年寄りとお年寄りの交流の場ができればなといつも思っています。

**市長** おっしゃるとおり、高齢者の方が集まる場所と、それから子供たちとの交流ができるような場所があるというのは、大変望ましいことだと思っております。

今、空き教室の利用としては、高階北小学校の中に老人憩いの家を設けていて、

そこに高齢者の方が集まっていろいろな楽しみをしたり、あるいは囲碁や将棋をやったりしています。学校以外の場所も含めるとそういうようなことのできる場所が市内に3カ所あります。そういうのを増やしていくとか、そのようなやり方で、かつ子供さんが一緒にできるような事業をやっていけばいいのかなという考えはございますので、進めていきたいと思っております。

これから子供の数は、南古谷地域はまだまだ子供の数が増えているんですけども、ほかの地域は減少に転じているところがほとんどで、学校の教室的にも空きが出てくるはずですので、大いにそういう形で活用していきたいと思っております。

**学校教育部長** 子供たちとお年寄りとの交流については、現時点でやっているものとしては、地域人材活用事業があります。新しい学習指導要領でも体験的な学習ということが重視されております。これまでも、きらめき体験事業として、地域の方などさまざまな方に学校にお越しいただき、子供たちが教わったり、一緒に交流したりという事業を行っております。そうしたことは今後も継続し、充実させていきたいと思っております。

それから、空き教室につきましては、恒常的にあるわけではありません。通常の学級数と現在ある普通教室との差を余裕教室と呼んでいますが、その余裕教室については、少人数指導の授業ですとか、体験的な活動として場所を2つに分けて行ったりというようなこともありますので、その教育活動そのものも以前とは少し様変わりしてきている状況もあります。そのため、その場所の確保という点で、なるべく学校としても有効に使っていききたいと思います。ご指摘のさまざまな方との交流というのは大切にしていきたいながら、全体のバランスも含めて考えていきたいと思っております。

**意見** 核家族が増えてきておりますので、年齢の高い人たちに触れて、何かいいことを教えていただければ、もっともっと子供たちの夢や何かが膨らむかなと思いますので、ぜひそういった機会がありましたらお願いいたします。

### 《公共施設での健康チェックグッズの常設について》

**意見** 第1支会です。生涯学習の場でもある市民センター、公民館等に、いつでも誰もがセルフチェックできる血圧計、身長計、体重計等を設置していただくことにより、健康への関心が高まっていくのではないのでしょうか。私自身、公民館を活用



させていただく中で、健康意識の高まりから、そのような声を耳にします。一度では、予算の関係もあり、無理かと思われませんが、1施設から設置していただけたらありがたいと思います。

**市長** ご提案のとおり、市民センターとかそういうところに、血圧計とか簡単に自分ではかれるようなものがあるというのは、健康への関心を高めて、自分自身の健康管理にプラスになることであると思っております。費用的に難しい面はありますが、例えば血圧計であれば、病院で自分ではかってきてくださいと言われて、ちゃんと結果がプリントアウトされるような、ああいうものだとすごく高いんですけれども、家庭に置いてあるような自分で巻いて自分ではかるものであれば比較的low額ですので、そういうものの普及であれば可能なのかなと考えております。検討させていただきます。

**保健医療部長** 市長が申し上げましたとおり費用の面も考えながら、今後検討していきたいと思っております。

**意見** 我々は公民館まつり等に参加して、そこに保健師さんに血圧計を持ってきていただいて、はかっています。家でもはかっているんだけどもなど言いつつ、手を出し、今日は高くなかった、よかったという、そういう安心の言葉が聞けたりいたします。やはり常設であって、運動とか何かする前、する後、そういったときに利用させていただければ一番ありがたいかなと思います。

### 《日常生活における交通手段の確保》

**意見** 芳野支会です。交通手段の確保について質問させていただきます。近年、高齢者によるブレーキとアクセルの踏み間違いや逆走による事故が多発し、それに伴い、高齢者の免許返納といったニュースをよく耳にします。都会に住んでいるのであればそれでいいと思いますが、交通不便地に住んでいる人にとっては、安易に免許返納ということができません。私の住んでいる芳野地区を例に挙げますと、バス路線が1路線あるのみで、路線内の北田島地区や鴨田地区の人はバスを利用することができますが、バス路線から離れている菅間地区、石田本郷地区、鹿飼地区等の人は、路線バスの利用は困難であります。

市では現在、このような交通不便地の対策として、デマンド型交通というものを実施していくと伺っておりますが、具体的にこの交通手段はどのようなものなのか。

また、アクセル踏み間違いの機械があると聞いています。市では、補助金等、検討していただけますでしょうか。

また、シャトルバス等の交通も少なく、もっと市民にとって利用しやすいようにしてほしいということと、保健センターまでのバスも少なく、保健推進員活動の拠点は保健センターであるので、もっとバスの本数を増やしてもらうことは可能でしょうか。

**都市計画部長** まず、デマンド型交通は、今年の2月から、市の西部地区、霞ヶ関地区であったりとか、そうしたところで始めております。イメージとしては、タクシーとバスの中間といったようなものです。基本的には停留所から乗っていただく乗り物ではあるんですけども、運行するのは予約のあったときのみです。

交通不便地域におきましては、大体200メートル間隔ぐらいで停留所を設けております。何時ぐらいに来てくださいと予約をしていただくと、その時間に、ワゴン車みたいな乗り物がお迎えに上がります。現状、「地区3」と我々が申し上げている市の西部地区のほうでは、その地区内の停留所という形で、ご自身のお宅の近くから、例えばスーパーマーケットであったりとか、駅であったりとか、そうしたところに移動できる乗り物として用意をさせていただいているところでございます。

今年度につきましては、私ども「地区2」と申し上げておりますけれども、高階地区であったりとか、あと大東地区、そちらのほうの導入に向けて準備を進めております。芳野地区につきましては、来年度以降、なるべく早くデマンド型交通が導入できるように頑張りたいと思っておりますので、もう少しお時間いただけるとありがたいと思っております。

また、保健センターへのシャトルバスが少ないとのお話がありました。おっしゃるとおりでございます。現状、私どもが把握している限りですと、川越駅の西口からだとも1日6便です。あと、霞ヶ関駅であったりとか、西川越駅からですとも1日5便といったような形で乗り入れしている状況です。

川越シャトルにつきましては、現状、市内全部で53路線走らせており、10台の車両でそれぞれ運行しているのですぐに便数を増やすのは難しい状況です。先ほど申し上げたデマンド型交通につきましては、この保健センターにも乗り入れしております。具体的には、この辺からですと、西川越駅であったりとか、あとは霞ヶ関駅、あとバスを利用していただいとということになりますけれども、神明町車庫

からとか、この保健センターまでという形でご予約をとっていただくと、デマンド型交通でこちらのほうにお越しいただくことも可能です。

先ほど「地区3」という形で、霞ヶ関駅の地区であったりとか、市の西部でと申し上げましたけれども、ご利用いただくのは市民の方であればどなたでもオーケーですので、シャトルバスの時間が合わないということであれば、デマンド型交通のほうもご利用いただくと、便利だなと思っていただけるのではないかと思います。ぜひ一度ご利用いただけるとありがたいと思います。

あとは、免許返納の方への補助金については、周りの自治体の状況とかも勉強し、引き続き、どういう形がいいのかといったような検討はしてまいりたいと思っております。

**市長** デマンド型交通を利用するには、登録をする必要がありますね。

**都市計画部長** はい。登録に関してお金は不要です。ただ、1回乗車当たり500円という形でちょっとお高めになっております。

**市長** 登録はどなたでもできます。

**意見** 距離はどうでしょうか。

**都市計画部長** 現状は、「地区3」というエリアの中であれば、どこからどこまで乗っていただいても基本は500円です。ただ、あくまでも停留所から停留所ということになります。ご自身のお宅の近くの停留所からスーパーであったりとか、また駅かどこかのバス停に行ってください、そこから乗り換えていただいて町なかにお越しいただくとか、基本的にはそういう使い方を想定しております。

**市長** デマンド型交通については、今は3つの地区に分けて、地区ごとに順次始めていって、まずはその地区内だけを動くという形でやっています。ですが、実施して、皆さん方のご意見を聞きながら、その運行方法等についてもまだこれから変えていく余地はございます。ご利用いただいたら、こういう点をもっとあったらいいとか、あるいはこれはまずいとか、そういうご意見を寄せていただければと思います。

**意見** 芳野のほうは時間かかりそうですね。そうしましたら、古谷のほうもまだです。

**都市計画部長** 芳野、古谷、南古谷の3エリアは、恐らく来年度以降、なるべく早い段階でと考えております。

**意見** 高齢社会になってきて、もっともとお年寄りが増えてきます。なるべくお年寄りが楽に、家に引きこもらないような手段を我々も皆さんにご提案できれば一番いいですね。

### 《働き盛りの 30 代から 50 代の健康づくり》

**意見** 高階支会です。高階支会では、毎年、南文化会館ジョイフルのロビー健康測定会と、高階南公民館文化祭の保健推進員講座、高階市民センター・高階公民館でよろず健康相談会のお手伝いのところで血管年齢測定を行っております。また、新河岸自治会の春のごみゼロ時の体力測定会でも血管年齢の測定をさせていただいています。

測定会に来る方のほとんどは高齢者で、なかなか働き盛りの方は測定に来られないのですが、来られる方の 30 代から 50 代の方たちは、数値の悪い方がとても多いので、この世代の人たちが高齢者になったときの健康影響とか、その親に育てられている子供たちへの健康影響が大きいと思われまます。今後、この世代への健康づくりについて、どのようなアプローチを考えておられるのかお聞きします。

**市長** 確かに 30 代、40 代、50 代の方は働き盛りで、比較のお医者さんにかかる頻度というか回数は少ない、そういう年代です。ただ、その時期にしっかりいい習慣を身につけていないと、高齢者になっていろいろな病気がどっと出てくるというか、生活習慣病が出てくるというようなこともございます。そのため市としても、そういう年代の方に健康を維持するためのいろんな、例えば定期健診を受けてほしいとか、そういうような働きかけはしているんですけども、やはりお忙しい年代なので、そういうものに参加してくれない、応答してくれないという面がございませう。

ただ、これから高齢者の方が増えて、さらに医療費が増えていく中で、そういうものの予備軍をどんどんと作り出してしまうのはやはり困ったことですので、できるだけ働きかけをして、健康維持のための事業に取り組んでもらうような努力は今後していきたいと思っております。

**保健医療部長** 平成 29 年度から実施しています埼玉県コバトン健康マイレージ事業を例にとりますと、65 歳未満の参加者が半数以上となっております。このコバトンのマイレージにつきましては、抽選で賞品が当たります。もしかしたらそういうものでやろうかなという意欲が出てきたりとか、それを続けることで前よりも体

調がよくなれば、若い人でもそれを継続していくようなことにつながっていくと我々のほうは考えております。

いずれにしましても、コバトン以外にも、そういう若い方たちが何かできるような事業を考えていきたいところでございます。

**意見** 血管年齢測定というのを数年前から、保健センターやいろんな健康まつり等でやらせていただくと、いつも常連さんがいまして、そういう方たちはさまざまな数値を自分で知り得ていて、きのう塩辛いものを食べたからちょっと高かったのかなとそういう答えを出されたりする人はいますが、やはり会社務め、家に寝に帰ってくるような方たちの健康というのをもっともっと、子供も抱えているでしょうし、健康に気遣ってほしいと思います。我々が何かチラシ等で啓発できることはやっていきたいなと考えております。

#### 《ウォーキング等の支障になっている新河岸川土手の雑草》

**意見** 高階地区に新河岸川の土手があるんですけども、旭橋から新扇橋の間を一周できるんですが、多くの地域の人たちがウォーキングやランニングをしています。1周約3キロほどのほどよい距離で、私の足で約5,000歩ほど歩くことができます。時期によって、夏場ですが、雑草が多く、ウォーキングやランニングの支障となります。今年は梅雨が長く、雑草の成長が遅かったので、8月、9月の2カ月間だけ通れないことがあったんですが、天候によっては3カ月も歩けない時期があるんですね。

市民の健康増進にとってもよい場所なので、定期的な除草を希望しております。現在年に2回の土手全体の除草を、土手の上の歩く場所限定でいいので、夏場の除草を増やしてほしいのですが、いかがでしょうか。

**建設部長** 新河岸川地帯は埼玉県が管理している河川です。皆さんに使っていただいている土手のところも管理用道路ということで、河川管理のために埼玉県が管理しております。

おっしゃるとおり、6月下旬から7月中旬ごろに1回目、それから10月中旬から11月ごろに2回目ということで雑草を刈って土手の管理をしています。

ご意見については、私どもからも改めて埼玉県にお願いしたんですが、除草について回数を増やすのは難しいということでお話は出ております。

ただ、市でも、樋管とって、川に流れ込む水路を管理していますので、本当に歩けないような状況になっているときには、埼玉県にも情報提供していきたいと思います。今回については、埼玉県にお願いしたというところでもよろしくお願ひしたいと思います。

**意見** 草は自然のものでありますから、天候によってかなり左右されるとは思いますが、皆さんが利用しているのであれば、ぜひとも何度もお声かけを埼玉県にさせていただけたら助かります。

### 《複数ある委員会の一本化・簡略化》

**意見** 川鶴支部です。我が地区でも地域推進員、世代間交流など非常に熱心に行っております。ボランティア側のことについて、志はすごく皆さんあるんですが、委員会、役員会、または打ち合わせに出席する回数が多くて、とても負担に感じているという点がございます。結局、若い方はお仕事で、高齢者がその役を担うことが多いんですね。そうすると、イベントもそうですが、委員会、役員会に出席するというのも負担がかかるという現状で、一本化、または簡略化できないかということなんですね。

例を挙げますと、青少年関係で、青少年を育てる川鶴地区会議、子どもサポート委員会、地区体育協力員連絡会、少年少女スポーツ大会、少年補導員会等、子供に関するだけでこれだけ分かれて、これだけの数の委員会があるわけなんですね。それを簡略化できないか、ご一考お願ひしたいと思います。

**市長** それぞれの団体組織が、似たようではあるけれども、一定の目的を持って組織されていて、似たようなことで頻りに集まったりいろんな作業をしなければならぬという、そういうご意見はほかからも頂戴しておりますので、たとえ少しでも改善できるかどうか検討を進めていきたいと思ひます。

**意見** 高齢者が担うことによって、複数の委員会を兼務している状態なんですね。というのは、なり手がないうちにおかしいんですが、余りにも忙しそうな委員会なので遠慮するという方が多くて、保健推進員もそうなんですけれども、本来の保健の仕事よりもそちらの部外のもの出席というものを強いられたりして、心もとないことで思っております。

そして、同じメンバーが兼務しているものなので、情報もわかり切っている会議

ということがあるんですね。なので、どうにかそこら辺をまとめてもらえないかという声が聞こえたので申し上げます。また参加する子供も一定数同じような方ばかりの繰り返しらしいんですね。そこら辺も工夫が必要なんじゃないかなと思いました。

**市長** ご意見はわかりましたので、検討させていただきます。

**意見** ありがとうございます。

**市長** ご意見に関連してなんですけれども、自治会自体がもうなり手が少なくなってきたままで、役員を引き受けてもいいよとか、実際の活動をやってもいいよという人が少なくなっている中で、かなりの地区で、もう半ば強制的に順番を決めちゃって、1年交代でやってねという、そういう状況になっているところがかなりございます。

ほかの自治体を見ると、自治会がなくなってしまうと、別のやり方で、今まで自治会が担ってくれていたようなことをやっているところがあるというので、そういう地域をいろいろ調査しながら、これからもっと傾向としては極端になってくるであろうというのに対応しなければと思っております。

ただ、やっぱり一定程度の部分については、地域の人が地域のことをやっていただくということは、いつの時代になっても必要なことだと思いますので、そういうような兼ね合いの中で、どの辺でバランスがとれるのか、そういうようなことも含めて調査研究しつつあるところです。

**意見** 先ほどの件は、市に陳情しなければいけないんですか。それとも自治体の協力で決定できるものなんでしょうか。

**市長** 市のほうで問題意識を持っていますから、順次進めていきたいと思っています。

### 《デマンド型交通に関する周知》

**意見** デマンド型交通のお知らせというのは、広報とかに載るものなんでしょうか。

**都市計画部長** 「地区3」の件につきましては、今年の1月25日号の広報で各世帯に通知しております。「地区3」のエリアの中で運行しているということもありますので、「地区3」の各世帯にはポストに申し込み用紙などを投函させていただいたところです。

ただ、市民全体が使うことができますので、例えば各市民センターなどリーフレットが置いてあるところに申し込み用紙を置いてありますし、また、申込書くださいとご連絡いただければ、私どもから郵送させていただきます。

### 《公共交通の利用促進》

**意見** お年寄りの人は新しいものをやるのが難しいので、例えば地域包括支援センターとか、あと民生委員がやっている体操教室とかで、公共交通に乗せてしまうというか、1回体験をさせてしまうというほうが使いやすいと思います。

私たちが健康まつりのときにポスターを描いてくださいというのも、見たことがないからやりたくないと必ず言われちゃうんですよ。やっぱり知らないものはやりたくないの、みんなで一緒に何かを体験させちゃうというほうが、次に1人でやる時にやりやすいんじゃないのかなと思います。恥ずかしい思いをしたくないとか、そういうところが多分あると思います。お年寄りがおうちにこもらないように、家族の人に迷惑はかけないで1人で出かけられるというものがあつたほうがいいと思うので、どうぞというのではなくて、どうにかさせていっちゃつたほうがいいと思います。

**都市計画部長** 公共交通は、乗っていただかないと維持もできないので、皆さんのふだんの活動と公共交通を利用したお出かけ企画が、何かコラボじゃないですけども、一緒にできたりすると、よりよいものになるのかなというような気がします。ぜひいろいろ意見交換や前向きな相談がこれからできればいいなと思います。

**意見** 今、公共交通を利用してというお話をいただきました。我々は今年、川越市のウォーキングコースを委員会として作成しております。

**意見** 健康いきいき委員会の中で去年から取り組んでいるんですけども、マイレージにかかわることとして、地域でしかわからない、南古谷なら南古谷なり、住んでいる地域の情報、保健推進員は各地区にいますので、その情報を集めてウォーキングマップをつくることを目指して活動しています。今年度載せるのは7地区の予定です。

とても皆さん健康に興味を持っていて、ウォーキングを毎日されている方もたくさん保健推進員の中にいます。そういうものをつくれれば、例えばそれを公民館や保健センターなりに置いておけば、それを活用して、こういうところがあるんだ、こ



ういうところにはトイレがあって、ウォーキングしているときにトイレに寄りたいとか、そういう情報も載せてつくりたいと思っています。

**意見** いつも同じコースばかり歩くのではなく、見学しながら歩くことを楽しんでいただくというもので、でき上がりましたらお届けに上がりたいと思います。ぜひご覧ください。

**都市計画部長** 公共交通との連携など何かいろいろできるんじゃないかと思います。

**意見** よかったです。なお、川越市の100周年を目指して、もっと親しみやすく、覚えていただけるような体操も考えておりますので、ぜひそういうものを見かけましたら、気にとめていただけたら助かります。

#### 《保健推進員協議会の広報紙》

**意見** 広報委員長をしております。広報委員で2年間活動してきたんですけれども、先ほどお配りした広報紙を実際見てどうでしょうか。今年度より紙面も変わりました。感想を聞かせていただけたら、次の保健推進員につなげられるかなと思いました。

**市長** 第一印象が、随分いい紙を使っているんだなという、そういう印象です。それから、中身については、活字と絵はとてもバランスよくできていると思います。活字ばかりでもないし、絵ばかりでもないということで、私の印象はそんな感じです。

**意見** ありがとうございます。本当うれしいです。いつもどんな感じにつくるのかすごく悩んだりするので、今年度より用紙が変わったことで、雰囲気も変わったんじゃないかなとは思ってはいるんです。ありがとうございました。

#### 《公園の整備について》

**意見** 第4地区です。私の地区の近くには、大正浪漫夢通りの中に保育所があったりとか、託児所のようなものが結構点在しているんですね。ですけれども、周りにその子供たちを遊ばせるような公園のようなものが余りなくて、その保育士の方たちが、交通量のあるところを歩いて公園に連れていくようなところをよく見かけます。もうちょっとまちの中とか、観光地化はしているんですけれども、住民や子供たちが遊べるような場所を、外から来る観光客の人たちばかりではなくて、

住んでいる人たちにも優しいような、和めるような場所ができたらいいなと思っています。近くにも今、開発がとまっているような場所があります。そういうところを、子供なりお年寄りが過ごせるようにしていただけたらなと思っています。

**市長** 公園の問題だと思うんですが、残念ながら、川越市は市民1人当たりの公園面積が全国平均に比べても極めて少ないという状況です。少しずつでも公園を増やしていこうという努力はしておりますけれども、第4支会にストレートに今のところ計画があるかという、大変申しわけないんですが、ないんです。そういう空き地があったら、場合によっては借地という形ででも公園にするという方法もありますので、具体的にここなんかどうかというのがもしございましたらご提案をいただければ、検討対象にさせていただきたいと思っております。

**都市計画部長** 町なかに緑であったり、子供や高齢者の方が憩えるところが必要かなと思いますが、公園をつくるとなると、それなりの広さが必要になってくることもあって、町なかだとそうしたある程度の広さの土地を確保するというのも大変であります。僕らとしても何かできることはないかと、ほかの自治体の例を勉強させてもらいながら、いろいろ考えてみたいと思っております。

**市長** 本日は、皆様方からさまざまな大変貴重なご意見を頂戴しまして、本当にありがとうございます。

ご要望等につきましては、すぐに対応できるものと、時間がかかるハードルの高いものがございますが、それぞれご要望を踏まえて検討対象にしていきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

引き続き皆様方には、地域の住民の健康増進、病気の予防等、いろんな保健活動にご尽力をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに当たりまして、保健推進員協議会のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念申し上げます、締めのご挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。